本日のプレゼンター

昭和建設株式会社

前嶋世津子

働く女性として
苦しかった経験：子育て・仕事、体が足りずに1日が36時間だったら良いのにと思う事

働く女性として
嬉しかった経験：山梨県から優良工事表彰を受けた事

私が働く理由：やりたい仕事をしている事で、自分らしさを保つ

リコージャパン株式会社

田中伊代

働く女性として
苦しかった経験：真っ暗な保育園・・・ひとりぼっちの我が子

働く女性として
嬉しかった経験：支社に新しいグループが出来たこと

私が働く理由：お母さんの活き活き働く姿が一番の教育

お母さん心理学・夢発見講座・才能発見講座
ごきげんママプロジェクト／子育てSDGsコミュニティ主宰
やまなしSDGsカフェ／八ヶ岳SDGsコミュニティ運営

働く女性が“いきいき”活躍できる山梨

～一人ひとりが活躍できる社会づくり～

やまなし女性の活躍推進ネットワーク会議
ジェンダー平等ワーキング

ジェンダー平等ワーキンググループとは

令和４年６月、ＮＷ会議の構成団体から推薦された、県内の企業 等において様々な立場で働いている私たち女性10名が集まり、就職、出産、育児、管理的立場になることその他の自らの経験や経験に基づいた思いをもとに、女性が活き活きと働くこと、また、働きながら輝き続けるためにはどんなことが必要なのかについて、討議がスタートしました。

思いを、そしてアイデアを、
仲間と共にカタチにするって楽しい♪

講師（コーディネーター）
山梨県男女共同参画
共生社会統括アドバイザー
萩原 なつ子　氏
（国立女性教育会館理事長）

The Marketing Team

伊藤　真凡
山梨県中小企業家同友会
（株式会社GEN）
「ありがとう」が溢れる社会

小田切　裕子
株式会社　山梨中央銀行
子どもに
「働いているお母さんカッコイイ！」
と思ってもらう

齋木　美和
NPO法人子育て支援センター
ちびっこはうす
親も子も笑顔で過ごせる社会

The Marketing Team

篠原　友紀
山梨県経営者協会
（山梨トヨタ自動車株式会社）
働くことを楽しむ！

清水　雅美
山梨県女性団体協議会
（清水屋旅館）
娘たちが
どんな時も楽しい未来を描く

田中　伊代
山梨経済同友会
（リコージャパン株式会社）
子どもたちが
「早く大人になりたい」と
思える世の中

The Marketing Team

波多野　佐智子
山梨県老人保健福祉施設協議会
（社会福祉法人
富士吉田市社会福祉事業団寿荘）

朝昼晩笑顔で
挨拶が交わせる社会

星野　美咲
山梨大学
（株式会社クアアンドホテル）

本来の自分で居られる
安心した居場所作り

前嶋　世津子
山梨県建設業協会
（昭和建設株式会社）

建設の仕事で
ワークライフバランスを実現

宮久保　朱実
山梨県看護協会
山梨中央病院

「一生勉強」
「無駄な経験は一つもない」

【図1】共働き等世帯数の推移（全国：妻が64歳以下の世帯）

出典）内閣府「令和４年版男女共同参画白書」

【図2】ひとり親世帯数の推移（山梨県）

出典）山梨県子ども福祉課「令和元年度山梨県ひとり親家庭等実態調査」

私達が考える女性活躍の現状

TOPICS TO COVER

少子高齢化
人手不足の深刻化
人材獲得・人材定着
働く女性自らの意志
個性と能力の発揮
ワークライフバランス

二者択一の苦しみ

◆仕事に重きを置くと
生活がおろそかになってしまう

◆生活を優先するとなると
仕事上でのキャリアアップや
スキルアップを断念するしかない

【図３】現在の社会が女性にとって働きやすい状況にあるか（山梨県）

出典）山梨県県民生活総務課「令和2年度男女共同参画に関するアンケート調査」）

【図４】現在の社会が女性が働きやすい状況にあるとは思わない理由（山梨県）

出典）山梨県県民生活総務課「令和2年度男女共同参画に関するアンケート調査」

個人一人ひとりの意識に働きかけ前向きに取り組むことによる期待

MISSION AND VISION

◆社員が定着し、人材の流出を防げる
◆環境に魅力を感じる人材が増え、採用しやすくなる
◆女性社員が働きやすくなり、活躍につながる
◆心身ともに健康的な生活を送ることができる
◆自己研鑽する時間ができ、スキルアップできる
◆気持ちを切り替えることができ、モチベーションや生産性が向上する

「ワーク・ライフ・バランスなんて夢のまた夢」ではありません

山梨県の男女共同参画先進県の実現を目指し、
私たちは「女性活躍」という切り口から、
多様性を当たり前に受け入れられる社会の実現を
目指したいと考えます。

そもそも・・・【活躍】とは何なのだろうか

日本のジェンダーギャップ指数 116位

山梨県のジェンダーギャップ指数 46位

What's ウェル ビーイング（Well-Being）

誰かにとって本質的に価値のある状態。
ある人にとってのウェルビーイングとはその人にとって究極的に善い状態。
その人の自己利益にかなうものを実現した状態である。

ギャロップ社が定義した

WELL-BEINGの5つの要素

CAREER WELLBEING
仕事に限らず
自分で選択したキャリアの幸せ

SOCIAL WELLBEING
どれだけ人と
良い関係を築けるか

FINANCIAL WELLBEING
経済的に満足できているか

PHYSICAL WELLBEING
心身ともに健康であるか

COMMUNITY WELLBEING
地域社会とつながっているか

“もはや昭和ではない”

「共働き世帯」が社会の中心となった現在、
女性が働き続けることはすでに前提

「どのような状態で働き続けるのか」をそれぞれが考え、
それぞれがビジョンを描くという時代のフェーズにいる

働く女性が“いきいき”活躍できる山梨

～一人ひとりが活躍できる社会づくり～

「第５次山梨県男女共同参画計画」基本目標

①男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

②一人ひとりが活躍できる社会づくり

③安全・安心に暮らせる社会の実現

重点目標１	重点目標２	重点目標３
幅広い分野で 女性リーダーを増やし ていくための 「人材育成」の強化	仕事と生活を 両立できる環境づくり	地域における 男女共同参画の推進

I.地域社会への浸透
パートナーシップで可能性を引き出しあう

proposal.1

山梨オリジナル指標で自己分析「心のぬくとさ憲章」

内容

Well- Beingにむけて山梨県民の心を豊かにするオリジナルの憲章を作成
その憲章に基づく「心のぬくとさ指数」を県民がいつでも確認できる

提言理由

山梨県民の「軸」として、「心のぬくとさ憲章」をつくり広めることで、
家庭、企業、社会全体の意識を変えて行くことが必要。
また、目安として定める「ぬくとさ指数」で自分を知り、多様性を認め合う山梨を目指したい。

I.地域社会への浸透
パートナーシップで可能性を引き出しあう

proposal.2

「 早よカエルDAY 」

内容

山梨県が県全体で「早帰りの日（早よカエルDAY）」を設定
「早く帰る」ことで特典を受けることが出来る

提言理由

子育ての時間がない、仕事が遅く自己啓発のセミナーに参加できない！
「たっぷり子育て、たっぷり地域ボランティア、たっぷり自己啓発」の為の時間をつくる。
協賛企業にも集客のメリットやイメージアップなどの効果が生まれ県内全体に活気が出る。

II.働く女性のモチベーションUP
自分の可能性を発揮できる

proposal. 3

「 親子で通うレッスンホール」
&「学び続けるワーママコミュニティ」

内容

時間が限られている働く子育て世代に対して、様々な施設が一つにまとまっている施設を作り、ママたちが集う場所をつくる

提言理由

子どものやりたいことや学ばせたいこと・子供と関わって絆を深めたいが、働いているためその時間を確保してあげられない、親自身も自分がやりたいことを我慢している。

一見、夢のように思えるが実は様々な効果が見込めると考えた。民間と行政が繋がって実現出来たら素晴らしい。

II.働く女性のモチベーションUP
自分の可能性を発揮できる

proposal. 4

その場で解決 「 甲州弁 チャットポット」

内容

ワーキングマザーが安心して働くために必要な様々な情報を「チャットポット」から検索し、
悩みなど解決するツール

提言理由

県のHP等からでも情報を得ることができるが、時間のないワーキングマザーにとっては簡単、スピーディーに情報を知りたい。
悩み相談も出来るようなコンテンツにし、ワーキングマザーの心の支えに。
人に頼ること、休むタイミングを大切にできる、自分に優しいワーママを増やしたい。

III.職場の風土改革
山梨企業における持続可能な労働

proposal. 5

「 “いきいき” ワーキングウーマン育成 」

内容

1. 心を整える
2. 自分の体を知る
3. 子育てと介護を充実させる

提言理由

ただ「働く」ではなく、だれもがもっと“ いきいき” 働ける山梨にしたい。
これまで様々な女性活躍講座は実施してきたが、その企業によって目指す「いきいき社員」が異なることから、企業に合わせた施策が必要。
女性特有の体と心、自分自身が状況を知り、また周囲にも理解してもらう。
講座を受けた社員はその会社の「メンター社員」に。

引企業

proposal. 6

「 山梨えるみんパワーアップ」 事業

内容

1．福利厚生支援　　2．企業イメージＵＰ支援　　3．登録企業社員への特典
4．えるみん登録企業のさらなるＰＲやメリット

提言理由

出産や育児が理由で仕事を続けることがでないという意見があり、企業の社内環境整備や制度改善の必要。
既存の"山梨えるみん"の登録に対するメリットや話題性によっては多くの企業と働く従業員にとって効果が期待される。

proposal. 7

「 ファミリーＤＡＹの設定」 事業

内容

- 家族を職場に呼び、職場見学・職場体験を実施
- お互いの家族を知り、看護や介護での休暇を取得しやすくする
- えるみん企業の横のつながりを活用

提言理由

働きやすい職場、家族を大切にする職場風土づくりが必要。
子どもたちに働くことを教えるだけでなく、社員自身が子どもたちに働く姿を見てもらい、視線を感じることにより"働く歓び"を実感する。
働き甲斐とESの両方をを向上させる。

proposal. 8

ボランティア・ありがとうポイント事業

内容

職場内で「ボランティア」や「ありがとう」に対する施策を推進させるための参考プランを県が示す
ボランティア休暇・ボランティアカード発行・ありがとうポイント

提言理由

精神的WELL-BEINGの実現のために、地域とのつながりを持つ・他者に感謝を伝える・感謝される歓びを実感する等が効果的。
企業の取組として、ボランティアや感謝を伝え合う風土作りができれば、
県民の幸福度も上がり、“いきいき”働くことに繋がる。

「Well-Being」の実現に向けて